

# 革新的GX技術創出事業(GteX) チーム型提案書記載の際の 留意事項

令和5年5月

# 様式 1

令和5年度 革新的GX技術創出事業(チーム型)

研究開発提案書(様式1)

ファイル容量は3MB以内を目標に作成してください。

応募領域・公募テーマ	※応募する領域、該当する公募テーマを記載ください。 領域:蓄電池/水素/バイオものづくり 公募テーマ:「〇〇の開発」
研究開発課題名 ※20文字程度	
研究開発期間	R05年 月～ 年 月( 年間)
希望する研究開発費 (直接経費)	(1)5年目までの研究開発費総額 ( 百万円) ※研究開始～2028.3まで
チームリーダー氏名 ※チームリーダーはe-Rad上の研究開発代表者になります	
所属機関・部署・役職	
本提案のエフォート	今年度: %
プログラムオフィサーとの利害関係 ※チェックしてください	プログラムオフィサーとの利害関係が <input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない ※詳細は募集要項「2.5.3 利益相反マネジメントの実施」をご参照ください。 利害関係がある場合は(様式3)「4.その他」に具体的な内容を記載ください。
チームリーダーの利益相反 ※チェックしてください	「チームリーダーに関係する機関」の参画が <input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない ※詳細は募集要項「2.5.3 利益相反マネジメントの実施」をご参照ください。 参画がある場合は(様式3)「4.その他」に具体的な内容を記載ください。
研究者番号	XXXXXXXX ※府省共通研究開発管理システム(e-Rad)より付与された8桁の研究者番号を記載
チームリーダーの情報	URL: 著者ID: ※チームリーダー(研究開発代表者)情報を掲載しているホームページ(研究室ホームページ、researchmap ページ等)があれば URL を、また ORCID iD や Publons の Web of Science ResearcherID、Scopus の著者ID がわかれば、当該ID を記載ください。

領域および公募テーマ名がただしく記載されているか。

研究費総額が各領域の募集要項で示されている金額の上限以下か。

所属機関は国内の機関か

エフォートはe-Radの数値と一致するか

「ある」場合は、様式3の4に記載が必要

# 様式 1

## 研究開発の概要

※全研究期間を含めた研究開発の概要を 1000 字以内で記載ください。  
※本項目の記載内容を、e-Rad の基本情報「研究概要」に転記ください。

**本内容は、e-Radに記載が必要です。ご注意ください。**

※e-Rad入力にあたっての注意：  
e-Rad入力画面には、アップロードボタンがあります。「直接入力」と「pdfアップロード」のどちらでもできるようにになっていますが、**「pdfアップロード」は使用しないでください。**

## e-Rad入力画面

基本情報

研究期間(西暦) **必須** 最短研究期間：1年 最長研究期間：3年  
(開始) [ ] 年度から(終了) [ ] 年度まで

研究分野(主) 研究の内容 **必須** Q 研究の内容を検索 クリア

キーワード **必須** キーワード 削除

研究分野(副)を設定する ▼ 任意項目を表示

研究目的 1000文字以内 (改行、スペースも1文字でカウント) あと1000文字

名称	形式	サイズ	ファイル名
研究目的ファイル	[PDF (PDF)]	10MB	[ ] 参照 クリア 削除

**こちらに直接記入**

## I. 研究開発推進について

※「I. 研究開発推進について」は、全ての提案において記載する必要があります。

### 研究開発課題の全体構想(様式 2)

※募集要項第 2 章「2.6 選考の観点」及び募集要項別紙第 6 章に記載の各領域が求める研究開発内容や、達成目標等もあわせて必ずご確認ください。

#### 1. GX(グリーンTRANSフォーメーション)実現に向けた研究開発の全体構想

※本研究開発によって、どのように GHG 削減やエネルギー安定供給、経済成長に貢献するのか、できる限り定量的に示してください。

※選択した公募テーマの目的を踏まえ、本研究開発が 10 年後に創出すると考えられる技術によって、社会に提供する新たな価値について記載ください。

※本項目の記載内容を e-Rad「基本情報」の「研究目的」に、必要に応じて要約した上で、1000 字以内で記載ください。

## I. 研究開発推進について

の様式については、**全ての提案において必ず作成ください。**

研究開発期間は原則5年ですが、この項目では提案が**10年後に創出すると考えられる技術によって提供する価値**について記載ください。

e-Radに記載が必要です。

※e-Rad入力にあたっての注意：

P3と同様、「直接入力」、「pdfアップロード」のどちらもできるようになっていますが、**pdfアップロードは使用しないでください。**

#### 2. 全体構想の実現に向けた課題

※現状、社会や当該分野がかかえる背景・問題点を以下の点を踏まえ記載ください。

- ・ 全体構想の実現に向けて解決すべき技術的課題
- ・ 全体構想を実現するにあたって考えられるリスク(中長期的に考えられる技術的・社会的なリスクなど。)

# 様式 2

## 3. 本研究開発の目標

※2で記載した課題の解決に向けて、研究開発期間全体を通して本研究開発で達成する目標を、設定の理由・根拠とともに記載ください。

必要に応じて図表等用いても構いません。

## 4. 本研究開発の優位性・革新性

※以下について、判断できるように記載ください。

- ・従来技術の延長ではない挑戦的な技術内容であり、科学技術の飛躍的な発展があること（社会・産業上のニーズを踏まえたハイインパクトな目標設定となっている根拠を示してください）。
- ・国内外の研究開発動向を踏まえ、提案が優位性、独自性を有すること。

… 様式 2 は、ここまでで図表含め 4 ページを超えないこと …

様式 2 は、4 ページ以内で作成してください（様式 1 除く）。

# 様式 3

## 研究開発目標と研究開発計画(様式 3)

※研究開発期間は5年を軸として、最大10年間の設定としてください。

### 1. 研究開発目標達成に向けた実施内容

#### (1) 研究開発実施内容の概要

※研究開発開始後3年度目・5年度目に実施される予定のステージゲート評価を見据えて、チーム全体としてどのようなスケジュールおよびマイルストーンを設定し研究開発を実施する予定か、わかるよう記載ください。

※以下について、判断できるように記載ください。

・公募テーマの目的を踏まえ、適切な短期・中期・長期の課題が設定されていること。(必ずしも短中長期課題全てが設定されている必要はありません。短中長期課題の考え方については募集要項「1.7 研究開発課題の構成について」をご確認ください。)

・社会・産業ニーズの把握および民間企業等の巻き込みなど、研究開発成果の展開(ビジネスモデル、企業への引き渡し等)を見据えた計画がなされていること。

※以下の項目については、提案時に予定しているものがあれば記載ください。

・ELSIへの配慮等、社会実装に向けた課題およびその解決方法

(記載例)

#### 【短期的な課題①】

・〇〇の開発: 〇〇の開発グループ

～～の開発を行う。研究開始後〇年後を目処に～～を検討完了し、△年後までに～～を確立する。

・□□の解析: □□グループ

～～の解析を行う。研究開始後〇年後を目処に～～を確立し、△年後までに～～を企業等へ引き渡す。

#### 【中期的な課題①】

・〇〇の向上: 〇〇グループ

短期目標で確立した～～を基に〇〇の向上を行う。〇年度を目処に～～の検討を完了し、△年後までに～～を達成する。

#### 【中期的な課題②】

・〇〇の開発: 〇〇グループ

〇〇の開発を行う。〇年度を目処に～～の検討を完了し、△年後までに～～を完成する。

#### 【長期的な課題①】

・〇〇の実証: 〇〇グループ

〇〇の開発を行う。〇年度を目処に～～を検討完了し、△年後までに～～を確立する。最終的には～～の開発を完了する。

書き方は自由ですが、**短期・中期・長期課題が明確にわかるよう**記載ください。

短中長期課題の考え方については募集要項 P.10「1.7 研究開発課題の構成について」をよくご確認ください。

短・中・長期それぞれの課題を**どこのグループが担当するのかも明確にわかるよう**記載ください。

また、**スケジュールやマイルストーン、産業界への引き渡しの時期など**についても読み取れるよう記載ください。

# 様式 3

## (2) 研究開発スケジュール

※具体的なスケジュールとマイルストーンについて、線表でお示ください。

▲:マイルストーン

	初年度 (R05.10～ R06.3)	2年度 (R06.4～ R07.3)	3年度 (R07.4～ R08.3)	4年度 (R08.4～ R09.3)	5年度 (R09.4～ R10.3)	6年度以 降 (R10.4 ～)
(記入例) 1. チーム全体	OOの安定化				OOの解明	OOの確立
2. OOの開発 グループ 【短期課題】 (1) ΔΔ原理の 確認 (2) □□□		OOの原理解明	企業へスピノアウト			
【中期課題】 (1) ΔΔの解析・ 評価 (2) □□□				OOの解析・評価		OOグループに 成果展開
3. OOの開発 グループ 【中期課題】 (1) ○○○ (2) □□□の試 作				OOの試作		
【長期課題】 (1) ΔΔの試作						

(1) で記載したスケジュールについて、線表で示してください。  
**短期・中期・長期課題への取り組みがわかるように、各グループ毎の研究開発スケジュールについて、記載ください。**

各グループの連携についても、計画されている場合はわかるよう表現してください。

グループ数に応じて、行を追加してください。

# 様式 3

## 2. 研究開発チーム体制

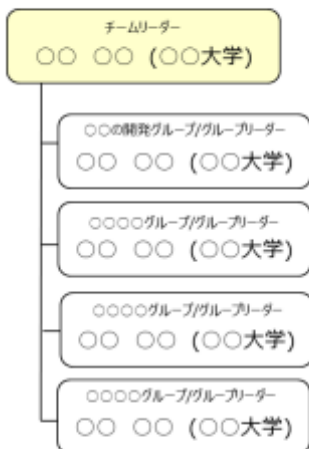
### (1) 研究開発チーム全体構想

(a) 研究開発チーム体制の概略図

※研究開発チーム体制を図示してください。

※チームリーダーは、チームの中に役割に応じたグループを設定し、それぞれのグループにグループリーダーを置いてください。

(チーム体制図を、目標達成に向けて適切な役割分担がなされていることが分かるように留意して、下図を参考に作成ください)



### (b) 研究開発チームの構成

※(a)で図示した内容と整合するように、グループの構成、グループリーダー、グループの役割を記載ください。チームリーダーとグループリーダーは、JSTと委託研究契約を締結し研究開発費の配分を行う予定の研究機関に所属している必要があります。

※グループの果たす役割等について明確にわかるよう記載ください。

※グループの数に上限はありませんが、チームリーダーの研究開発構想の遂行に最適で必要十分なチームを編成してください。

#### ① 研究開発チームの体制: チームリーダーについて

チームリーダー	氏名(チームリーダー)	役職	エフォート
研究開発機関名			

#### ② 研究開発チームの体制: グループリーダーについて

グループ名	氏名(グループリーダー)	役職	エフォート
例) 〇〇の開発グループ			
研究開発機関名			

チーム体制をわかりやすく図示してください  
(自由形式)。

各グループには、グループ名、グループリーダーなどの情報を含めてください。ここでのグループリーダーは、委託契約毎の代表者ではなく、各要素技術毎に設定されたグループのリーダーを指します。

こちらはチームリーダーおよびグループリーダー情報を記載する箇所になります。グループ数に応じて欄を追加してください。グループ数は領域や公募テーマの実情に応じたものとしてください。チームリーダーおよびグループリーダーは、JSTと委託契約を締結する機関に所属している必要があります。



# 様式 3

## (3)各グループの体制と役割

※開発する要素技術ごとにグループを設置し、グループごとに役割とメンバーを記載ください。  
※グループの数に上限はありませんが、チームリーダーの研究開発構想の遂行に最適で必要十分なチームを編成してください。  
※グループ数に応じて、②以降を追加してください。

### ① ○○の開発グループ ※適切な名称に設定してください。

#### (a) グループの概要

研究開発概要 (開発する要素技術と役割、おおまかなスケジュール等)	
他のグループとの連携について	

#### (b) 構成メンバー

研究者氏名	研究開発機関・部署名 <sup>1)</sup>	役職	グループ内での役割
○○ ○○	○○大学 大学院○○研究科	教授	グループリーダー
○○ ○○	○○大学 大学院○○研究科	准教授	
○○ ○○	○○大学 大学院○○研究科	博士課程○年	

※現在の所属機関と採択後研究開発を実施する機関が異なる場合には、研究開発を実施する機関を記載いただき、特記事項にて事情をお知らせください。

#### <特記事項>

※特別の任務等(研究科長等の管理職、学会長等)に仕事時間(エフォート)を要する場合には、その事情を記入ください。

※海外の研究開発機関を研究開発チームに加える場合は、募集要項第2章「2.3.2 研究開発体制の要件」を参照の上、海外の研究機関に所属する共同研究者が必要であることの理由を本項に記載ください。

各グループの役割が明確にわかるよう、簡潔に記載ください。グループ数に応じて、記載欄を追加してください。

グループの構成メンバーは、学生含め全員こちらに記入ください。グループ内での役割は、箇条書き程度で結構です。

海外機関の参加が見込まれる場合は、当事業HPにある、「海外共同研究雛形」等の内容をご確認ください(後日掲載)。  
また、「特記事項」で海外機関の参加の必要性を記載してください。

# 様式 3

## (4) 委託研究契約の情報

※こちらには委託研究の契約代表者および所属機関情報を記載ください。チームリーダー、グループリーダーの他に、委託研究契約を締結する研究機関の契約代表者を全て記載する必要があります。e-Radでの入力内容となります。

※委託研究契約は、研究機関毎に締結しますが、同一の研究機関において複数の契約を締結することが可能です(複数の契約代表者を設定することが可能です)。

※府省共通研究開発管理システム(e-Rad)へ研究者情報を登録した際に付与される8桁の研究者番号を記載ください。

※研究機関名の欄には府省共通研究開発管理システム(e-Rad)所属研究機関コードも記載ください。

委託研究の契約代表の研究者氏名	研究機関・部署名 <sup>1)</sup>	役職	所属グループ名
〇〇 〇〇 研究者番号: 12345678	〇〇大学 大学院〇〇研究科 研究機関コード: 1234567890	教授	チームリーダー
〇〇 〇〇 研究者番号: 12345678	〇〇大学 大学院〇〇研究科 研究機関コード: 1234567890	教授	〇〇の開発グループ
<b>〇〇 〇〇</b> <b>研究者番号: 12345678</b>	〇〇大学 大学院〇〇研究科 研究機関コード: 1234567890	准教授	〇

こちらは委託研究契約の代表となる研究者情報を記載いただく項目になります。**JSTと委託契約を締結し、委託費が配分される機関の代表者は、全てこちらに記載されている必要があります。**

e-Radの「2.研究組織情報の登録」には、チームリーダー（研究開発代表者）およびこちらに記載の研究者情報を入力してください。

**e-Rad入力画面**

**契約代表者（主たる共同研究者）にも、e-Rad番号（研究者番号）の記載を求めます。** 未取得の場合は、採択時までe-Rad番号の取得が必要です。

2.研究組織情報の登録

課題に参加するメンバーと、研究メンバーごとの研究経費初年度を入力してください。研究経費は、上の表の「研究者ごとの金額合計」に反映されます。

行の追加 選択行の削除

研究者を検索	研究者番号 生年月日 氏名 (年齢)	研究機関 部局 職/職階 <small>必須</small>	専門分野 学位・取得年月日・大学 役割分担 <small>必須</small>	直接経費 間接経費 ? <small>必須</small>	エフォート (%) <small>必須</small>	閲覧・編集権限	削除	移動
	代表者 70958694 1980/01/05 テスト 研究者 イチゴ (42歳) (テスト ケン キュウシャイチ ゴ)	テスト研究機関0 その他 研究者/研究員・ポ ストドクタークラス	専門分野 <input type="checkbox"/> 学士 (学士 (文学)) 役割	1,000,000 円 300,000 円	10			
Q 検索	60958693 1980/01/04 テスト 研究者 イチヨン (42歳) (テスト ケン キュウシャイチ ヨン)	テスト研究機関0 その他 研究者/研究員・ポ ストドクタークラス	専門分野14 <input type="checkbox"/> 学士 (学士 (文学)) 役割14	0,000 円 0,000 円	15	無し	<input type="checkbox"/>	

行の追加 選択行の削除

## 様式 3

### (5) 学生および若手研究者の参画について

※研究体制への学生および若手研究者の参画人数について記載ください。

※学生は学部学生・大学院生(修士・博士課程)を対象とし、若手研究者は博士の学位を取得後8年未満又は39歳以下の博士の学位を未取得の研究者を指すこととします。

※また、学生および若手研究者の参画に関する方針や育成に関するお考えがあれば記載ください。

※若手の積極的な参画・育成については、募集要項「1.3 事業の特徴と推進にあたっての留意事項」を参照ください。

各提案における若手参画状況について記載ください。  
可能な範囲で内訳（学部生●人、修士●人、博士●人、その他若手研究者●人等）についても記載ください。  
若手研究者の育成に関する計画や方針がある場合は、そちらについても記載ください。

# 様式 3

## 3. チームリーダー(研究開発代表者)が行うマネジメント方針

### (1) 研究開発マネジメントの方針

※改善や軌道修正、新たな知見・技術の導入、成果の展開に当たっての方針

### (2) 知的財産管理方法等に係る方針

※知的財産管理方法には、例えば次のようなものを含みます:

- ・知的財産のマネジメントにあたり、どのようなメンバーでマネジメント体制を構築するのかについて、チームリーダーの基本的な考え方。
- ・本課題で創出される研究開発成果について、知的財産として「権利化する対象としない対象」を区分する基本的な考え方。また、対象の発表・非公開についての基本的な考え方。
- ・本課題実施期間中および終了後の知的財産の権利化・維持(財源をどうするかを含む)、放棄、移転等についての基本的な考え方。

※本研究開発に参画する研究者は、提案する領域における知的財産の取扱方針を遵守する必要があります。

### (3) 研究データマネジメントに係る方針

※研究データマネジメント等に係る方針には、例えば次のようなものを含みます:

- ・本課題で創出される研究データの取得・管理に関する基本的な考え方。具体的には、「研究データを管理対象とするか・対象外とするか」の基準設定に関する考え方。
- ・本課題実施期間中および終了後の管理対象となる研究データの保存・利活用に関する基本的な考え方。具体的には、管理対象となる研究データの保存場所、保存期間に関する考え方や、公開する際の公開場所、公開期間、利用する際の制限事項の設定に関する考え方。

社会実装を目指す事業であることから、**提案者の知財の基本的な管理方針について記載**してください。

採択後は、各領域が定める知財方針も踏まえて、特許の取得や管理について検討いただくこととなります。

データ利活用については事業全体で方針を定めるところではありますが、各提案で現在予定しているデータマネジメントについて、記載ください。

# 様式 3

## (4) 国際連携に係る方針

※本事業では、海外のトップレベルの研究機関との戦略的・積極的な連携を促進します(「1.3 事業の特徴と推進にあたっての留意事項」をご確認ください)。チームとしての国際連携の方針や計画、予定している取り組みがあれば記載ください。

本事業では積極的かつ戦略的な国際連携を推進します。各提案で予定している国際連携の方針について記載ください。

## 4. その他

※現時点での、主要な研究開発機関における支援方策や体制についての準備・検討状況について記載ください。

※プログラムオフィサーとの利害関係がある場合は、その内容を具体的に記載ください。また、本提案におけるチームリーダーの利益相反がある場合は、その内容を具体的に記載ください。利害関係及び利益相反の定義は、募集要項第2章「2.5.3 利益相反マネジメントの実施」をご確認ください。

本事業への参画にあたって、研究開発機関が支援などを予定している場合は、その体制や詳細について記載ください。  
POとの利害関係やチームリーダーの利益相反がある場合は、その内容を具体的に記載してください。

# 様式 4

## 研究開発予算計画(様式 4)

- ・本様式では、5年度目までの研究開発予算計画を記載ください。
- ・研究開発期間、予算総額は領域や公募テーマによって異なります。記入に当たっては必ず募集要項別紙第6章をご確認ください。
- ・費目別の研究開発予算計画とグループ別の研究開発予算計画を年度ごとに記入ください。
- ・面接選考の対象となった際には、さらに詳細な研究開発予算計画を提出していただく場合があります。
- ・研究開発費は、本事業全体の予算状況、プログラムオフィサーによる領域としてのマネジメント、課題評価の状況等に応じ、採択時や研究開発期間の途中に見直されることがあります。

### ○ 研究開発推進に係る費目別の研究開発費計画

※研究開発費の費目と、その用途は以下のとおりです。

- ・設備備品費: 個別研究機器について記入ください。個別研究機器の詳細については募集要項第1章「1.4 研究開発体制について」を参照ください。
- ・消耗品費: 消耗品を購入するための経費
- ・旅費: チームリーダーや研究参加者の旅費
- ・人件費・謝金: 研究員・技術員・研究補助員、RA<sup>※</sup>等の人件費、謝金(※RA(リサーチアシスタント)については募集要項第4章「4.13 博士課程学生の処遇の改善について」をご参照ください。)

予算計画は5年度目までを記載ください。  
**こちらの「設備備品費」は、個別研究機器についてのみ計上ください**（共通研究機器は「ii. 共通研究機器整備について」様式の予算計画に記載いただくことになります）。

(単位: 百万円)

	初年度 (R05.10~ R06.3)	2年度 (R06.4~ R07.3)	3年度 (R07.4~ R08.3)	4年度 (R08.4~ R09.3)	5年度 (R09.4~ R10.3)	合計
設備備品費						
消耗品費						
旅費						
人件費・謝金 (人件費を支出する 研究員の数)	( )	( )	( )	( )	( )	
その他						
直接経費 計						
間接経費						
合計						

単位は百万円です。ご注意ください。

人件費が研究開発費総額の50%を超える場合、消耗品費、旅費それぞれが研究開発費総額の30%を超える場合は、その理由を本項に記載してください。

### ○ 特記事項

- ・人件費が研究開発費総額の50%を超える場合、消耗品費、旅費それぞれが研究開発費総額の30%を超える場合は、その理由を本項に記載ください。

# 様式 4

## ○グループ別の研究開発費計画

※各グループの研究開発費および、担当する短中長期課題にかかる概算予算についても可能な範囲で記載ください。

※6年度目以降の予算については、現状必要と想定される必要最低限の研究開発費について記載ください。

	初年度 (R05.10～ R06.3)	2年度 (R06.4～ R07.3)	3年度 (R07.4～ R08.3)	4年度 (R08.4～ R09.3)	5年度 (R09.4～ R10.3)	5年度目 までの 合計	6年度目 以降 (R10.4～)	全期間 合計
○○の開発グループ								
【短期課題】 (1)△△原理の確認 (2)□□□								
【中期課題】 (1) △△の解析・評価 (2)□□□								
【長期課題】 (1)△△の開発								
△△グループ								
【短期課題】								
【中期課題】								
□□グループ								
【中期課題】								
【長期課題】								
直接経費 計								
間接経費								
合計								

(単位:百万円)

こちらの研究開発費計画は、5年度目までは各年度毎、6年度目以降はまとめた金額を記載ください。6年度目以降は、想定される必要最小限のおおかまな金額の記載で結構です。

短期・中期・長期課題毎に分けて金額を記載ください。このとき、**各年度の合計はP.13の費目別の研究開発費計画と合っているか、ご確認ください。**

単位は百万円です。ご注意ください。

# 様式 4

## ○ 活用予定の既存の主要設備

※所属機関の研究施設における設備・装置等で、領域・研究開発チーム間で活用、共用する予定のものがある場合、記載ください。

※共通研究機器整備を含む提案においては、こちらの項に記載せず、「ii. 共通研究機器整備について」(様式7)に記載ください。

(記入例) ○○○○○○(機器名)                      ○○大学(設置場所)  
                  ○○○○○○                                      ○○大学  
                  ○○○○○○                                      ○○研究機構

## ○ 購入予定の個別研究機器(1件5,000千円以上)

※蓄電池、水素領域における共通研究機器として、P21「表. 蓄電池領域および水素領域において整備が想定されている共通研究機器一覧」に示すものを予定しています。導入する個別研究機器については、リストに掲載されている設備等の使用を前提に、装置類の購入計画を立ててください。

※共用を予定している機器については、○を「共用」欄へ記載ください。

この項目における共用は、募集要項「4.12 研究設備・機器の共用促進について」に記載の「研究設備・機器の共用促進に向けたガイドライン」に沿ったものになります。

設備・装置名	概算価格 (千円)	設置する 研究機関名	導入年度	用途	共用

大型設備はチーム内・領域内で供用を図ることから、すでに所属機関で所有の大型な設備・装置で供用が想定されるものがある場合、こちらに記載ください。記載なしでも問題ありません。

※共通研究機器を含む提案については、こちらの記載は不要です。様式7に記載ください。

個別研究機器として購入予定の装置・機器で、5,000千円以上のものは全て記載ください。また、**蓄電池・水素領域で共通研究機器として整備する予定の装置・機器一覧が募集要項1～5章P.11にありますので、リストに掲載されている装置・機器以外の導入計画をご検討ください。**



# 様式 6

## 他制度での助成等の有無(様式 6)

※チームリーダー、グループリーダーおよびそれ以外の主たる共同研究者(様式3の2.(4)委託研究契約の情報において挙げた研究者)が、現在受けている、あるいは申請中・申請予定の国の競争的資金制度やその他の共同研究開発費・研究助成等(民間財団・海外機関を含む)(\*)について、研究課題ごとに、資金制度名もしくは研究開発費名、研究課題名、研究期間、役割、本人受給研究開発費の額、エフォート・所属機関および役職を記入ください。募集要項第4章「4.2 不合理な重複・過度の集中に対する措置」もご参照ください。  
 (\* )応募に当たっては、「統合イノベーション戦略 2020」において「外国資金の受入について、その状況等の情報開示を研究資金申請時の要件」とすることとされたことを踏まえ、「他制度での助成等の有無」の様式に海外からの研究資金についても記入することを明確にしています。国内外を問わず、競争的資金のほか、民間財団からの助成金、企業からの受託研究開発費や共同研究開発費等の研究資金について全て記載ください。

※記入内容が事実と異なる場合には、採択されても後日取り消しとなる場合があります。

※現在申請中・申請予定の研究助成等について、この研究開発提案の選考中にその採否等が判明する等、本様式に記載の内容に変更が生じた際は、本様式を修正の上、この募集要項巻末に記載された問い合わせ先まで電子メールでご連絡ください。

※面接選考の対象となった場合には、他制度への申請書、計画書等の提出を求める場合があります。

(記入例)

チームリーダー: ○○ ○○

資金制度名 もしくは 研究開発費名 (配分機関名)	受給 状況	研究課題名 (代表者氏名)	研究 期間	役割 (代表/ 分担)	(1)本人受給研究開 発費 (期間全体) (2)〃(R06年度予定) (3)〃(R05年度予定) (4)〃(R04年度実績)	エフォート (%)	所属 機関・ 役職
革新的 GX 技術 創出事業(本提 案)	申請	/		代表			
科学研究開発費 補助金 基盤研究(S)	受給	××による◇◇ の創成 (○○○○)	2020.4 — 2025.3	代表	(1) 100,000 千円 (2) 50,000 千円 (3) 25,000 千円 (4) 5,000 千円	20	
共同研究開発費 (○○株式会社)	受給	××による◇◇ の解析 (○○○○)	2022.10 — 2024.9	代表	(1) 20,000 千円 (2) 7,000 千円 (3) 8,000 千円 (4) 5,000 千円	10	
JST 戦略的創造 研究推進事業 CREST	申請	××による◇◇ の高機能化 (○○○○)	2023.10 — 2027.3	分担	(1) 140,000 千円 (2) 35,000 千円 (3) 8,000 千円 (4) -		

・現在受給中または受給が決定している助成等について、本人受給研究開発費(期間全体)が多い順に記載ください。その後、申請中・申請予定の助成等を記載ください。

・助成等が、現在受給中または受給が決定している場合は「受給」、申請中または申請予定であれば「申請」、

本資料P.9委託研究契約の情報に記載の人物について、他制度での助成等の情報を記載ください。

# 様式 7

## ii. 共通研究機器整備について

※「ii. 共通研究機器整備」は、共通研究機器整備を含む提案のみ、記載する必要があります。  
共通研究機器整備が含まれない提案については、「ii. 共通研究機器整備」は記載する必要がありません。本ページ以降を削除してください。

### 全体構想(様式7)

※募集要項第1章「1.5 共通研究機器について」及び募集要項別紙第6章に記載の共通研究機器整備が対象となる公募テーマについて、必ずご確認ください。

#### 1. 共通研究機器の整備に係る全体構想

※共通研究機器は、各研究サイトにおいて分散して導入した設備を他サイトとの共同研究にも供するものを対象とするのではなく(これらは「個別研究機器」に区分)、主として大型の研究機器を集約して整備し、管理責任者のもと一体的に維持・管理されるとともに、専任のオペレータによる試料作製や機器操作等を含む利便性を考慮して供用されるものが対象となります。このような観点から、チームに供用する大型の共通研究設備の整備や運用の方針に関する構想について記載ください。具体的には、以下について記載ください。

- ・共通研究機器にかかる設備整備のスケジュール
- ・共通研究機器の維持・管理に係る方針
- ・共通研究機器の運用に必要な専任オペレータの配置や、機器設置場所の運用方法
- ・領域内での供用に係る方針

#### ■導入予定の共通研究機器一覧(1件 5,000千円以上)

※予定している共通研究機器について、詳細を記載ください。共通研究機器の詳細は募集要項第1章「1.5 共通研究機器について」をご参照ください。

※必要に応じて行を増減してください。

##### 既存設備

※すでに研究機関で有している、領域・研究開発チーム間での利活用・供用を予定している設備・機器等について記載ください。

設備・装置名	設置している研究機関名	用途・備考

**様式7以降は、「共通研究機器整備」を含む提案のみ、記載いただく必要があります。**

含まない提案は記載いただく必要がないため、様式7以降を削除してください。

共通研究機器整備が対象となる公募テーマは以下のとおりです。

**蓄電池領域：公募テーマ5のみ**

**水素領域：公募テーマ1～3**

**バイオ領域：公募テーマ1、2**

共通研究機器は、すでに所属機関で有している既存設備も含まれます。既存設備で供用を予定している装置・機器がある場合、こちらに記載ください。

# 様式 7

## 購入予定の設備

※共通研究機器は、採択された研究チームと整備する共通研究機器について調整を行うため、以下に記載した機器を実際に全て整備いただくというわけではありません。各研究チームのニーズを定期的に抽出し、研究開発の進捗等に応じて、共通研究機器の導入を実施していただきます。

### サイト1.

設置予定の研究機関名：(※リストの設備・装置を設置する研究機関名を記載ください)

管理責任者：(※管理責任者の氏名を記載ください)

設備・装置名	概算価格(千円)	導入予定年度	用途・備考

サイト2. ※2つめのサイトがある場合のみ記載ください。ない場合は表を削除してください。

設置予定の研究機関名：(※リストの設備・装置を設置する研究機関名を記載ください)

管理責任者：(※管理責任者の氏名を記載ください)

設備・装置名	概算価格(千円)	導入予定年度	用途

共通研究機器として、研究開発開始後に導入を予定している装置・機器について記載ください。共通研究機器は募集要項1～5章P.8にあるとおり、主として大型の研究機器等を**集約して整備し、管理責任者のもと一体的に維持・管理**されるとともに、**専任のオペータによる試料作製や機器操作等を含む利便性を考慮して供用されるもの**が対象となります。そのため、自然と集約する場所（サイト）は絞られると考えられます。

# 様式 8

## 共通研究機器に係る予算計画(様式 8)

- ・本様式では、5年度目までの研究開発予算計画を記載ください。
- ・予算は領域や公募テーマによって異なります。記入に当たっては必ず募集要項別紙第6章をご確認ください。
- ・費目別の研究開発予算計画とサイト別の研究開発予算計画を年度ごとに記入ください。
- ・面接選考の対象となった際には、さらに詳細な研究開発予算計画を提出していただく場合があります。
- ・研究開発費は、本事業全体の予算状況、プログラムオフィサーによる領域としてのマネジメント、課題評価の状況等に応じ、採択時や研究開発期間の途中に見直されることがあります。

### ○ 共通研究機器に係る費目別の研究開発費計画

※本項目はチーム型研究に供用する共通研究機器および、その整備に関する研究開発費計画となります。

※研究開発費の費目と、その用途は以下のとおりです。

- ・設備備品費:共通研究機器について記入ください。共通研究機器の詳細については募集要項第1章「1.5 共通研究機器について」を参照ください。
- ・その他、計上できる経費は以下になります。
  - 共通基盤研究(DX等新規手法の開拓、評価・解析、統合システム試作やデータの自動収集等)に必要な研究開発費(物品費、旅費、人件費、その他経費)
  - 共通研究設備にかかる設備費
  - 共通研究設備の維持・管理費
  - 共通研究設備の運用に必要な経費(専任オペレータの人件費、独立してメーターを設置したときの光熱水費、シーケンサー試薬など共通研究設備供用に必要な材料・消耗品費等)
  - 共通研究機器の整備、供用のための施設賃借費(大学等において、他大学等に主たるサイトを有するチームに共通研究機器を供用するためのインキュベーション施設等の賃借費)

(単位:百万円)

	初年度 (R05.10~ R06.3)	2年度 (R06.4~ R07.3)	3年度 (R07.4~ R08.3)	4年度 (R08.4~ R09.3)	5年度 (R09.4~ R10.3)	合計
設備備品費						
消耗品費						
旅費						
人件費・謝金 (人件費を支出する 研究員の数)	( )	( )	( )	( )	( )	
その他						
直接経費 計						
間接経費						
合計						

様式8の予算計画は、**共通研究機器整備のみを対象とした場合の、必要な予算について記載ください**。研究開発に係わる予算計画は様式4になります。  
計上可能な経費については募集要項P.8や青字の記載をよくご確認ください。

共通研究機器は募集要項1~5章P.9に記載の通り、採択された各研究チームと整備する共通研究機器について調整することとなりますが、提案時に想定される予算計画について記載ください。

# 様式 8

## ○研究機関別の研究開発費計画

※サイト毎の研究開発費についても記載ください。サイト2がない場合、行を削除してください。

(単位:百万円)

	初年度 (R05.10～ R06.3)	2年度 (R06.4～ R07.3)	3年度 (R07.4～ R08.3)	4年度 (R08.4～ R09.3)	5年度 (R09.4～ R10.3)	合計
サイト1. 〇〇大学						
サイト2. △△機構						
直接経費 計						
間接経費						
合計						

サイト毎の予算計画について記載ください。サイト2がない場合、行を削除してください。  
各年度の合計は、P.19の費目別の予算と合っているか、ご確認ください。